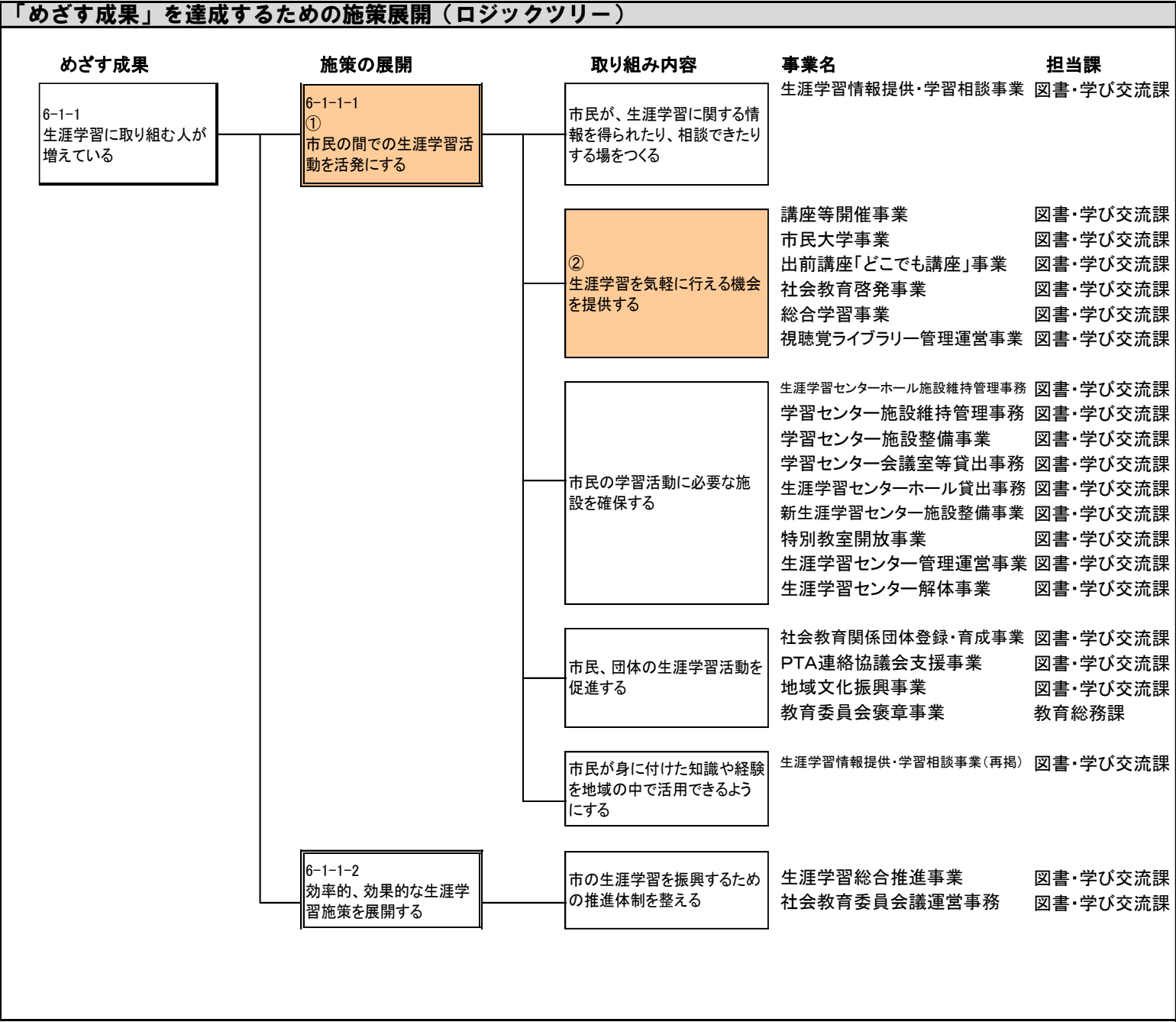


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
6-1-1 生涯学習に取り組む人が増えている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	いつでも学べる場と機会を充実する
	めざす成果	生涯学習に取り組む人が増えている
		様々な学習機会が提供されることにより、生涯学習に取り組む人が増えています。



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 市民一人あたりの学習セ ンター年間利用回数	4.08回	4.23回	3.85回	3.79回	3.90回	4.30回	4.58回
	② 団体企画提案の地域学習 交流事業・市共催事業数			105件	88件	107件	123件	133件

所 管 部	文化スポーツ部	
平成２７年度までの 取り組み内容	【市民の間での生涯学習活動を活発にする】 ・生涯学習推進計画に基づき、市民のニーズを踏まえた講座や生涯各期に応じた学習機会の提供等を行い、市民がいつでも学べる環境の充実に図りました。 ・地域学習交流事業では、水彩画講習会やダンスなど市民団体が開催する68の講座を支援し、3,096人が参加しました。 ・より身近な場所で学習活動ができるよう、小中学校9校の特別教室（音楽室、美術室、家庭科室等など）を開放する特別教室開放事業を実施しました。 ・教職員の社会体験研修に6人、図書館司書資格取得のための実習に1人を受け入れました。（H26実績：6人） ・地域の子ども向け映画会を開催する方などを対象に、16ミリ映写機の操作方法を学ぶ講習会を開催し、7人が参加しました。 【効率的、効果的な生涯学習施策を展開する】 ・平成28年11月3日からの生涯学習センター及び図書館の指定管理者による運営に向け、引継ぎの準備を進めました。	
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・建物や電気設備の保全計画に基づき改修工事などを行っていますが、各学習センターとも経年劣化がみられます。桜丘学習センターについては、受水槽や受変電設備等の改修に向け、平成28年度は設計業務を行い、順次改修を進めてまいります。 ・市が行う生涯学習事業（各世代対応等）や社会教育事業（現代的課題等）等について、市民の学習ニーズに応えながら実施するとともに、事業のさらなる充実に図り、学習センターを利用する人数や活動団体数、構成員数を増やしていく必要があります。また、市民の持つ知識等を地域に還元する地域学習交流を支援することで、生涯学習に取り組む人が増え、学習意欲の促進につながるものと捉えています。 ・施設見学や各種実習の希望者をできる限り多く受け入れ、学習の場を提供する必要があります。 ・視聴覚ライブラリーは、近年のデジタル映像関連コンテンツ類の発展普及等の社会状況、さらに図書館の文化創造拠点への移転を踏まえ、平成28年8月末日をもって廃止します。	
注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
今後の展開方針		
新規事業の立案	・生涯学習センターを平成28年11月3日から指定管理者による運営とします。 ・中央林間地区街づくりビジョンに基づく、スポーツを中心とした誰もが利用しやすい交流拠点を整備します。	（該当する事務事業） ・生涯学習センター管理運営事業 ・（仮）旧緑野市営住宅跡地施設整備事業
既存事業の拡充		（該当する事務事業）
事業の廃止・縮減	・新生涯学習センター及び芸術文化ホールが平成28年11月3日から開館し、指定管理者による運営となるため、関連する事業が廃止となります。 ・図書館の文化創造拠点への移転に伴い、視聴覚ライブラリーを廃止します。	（該当する事務事業） ・生涯学習センターホール施設維持管理事務 ・新生涯学習センター施設整備事業 ・生涯学習センターホール貸出事務 ・視聴覚ライブラリー管理運営事業
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）